事例No.	1558
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	神奈川県平塚市

事例区分	DX

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・歳入確保

事例種類	自治体DX推進

事例内容・タイトル

プレミアム商品券の電子化による事務経費の削減

出典

自治体DX推進手順書参考事例集

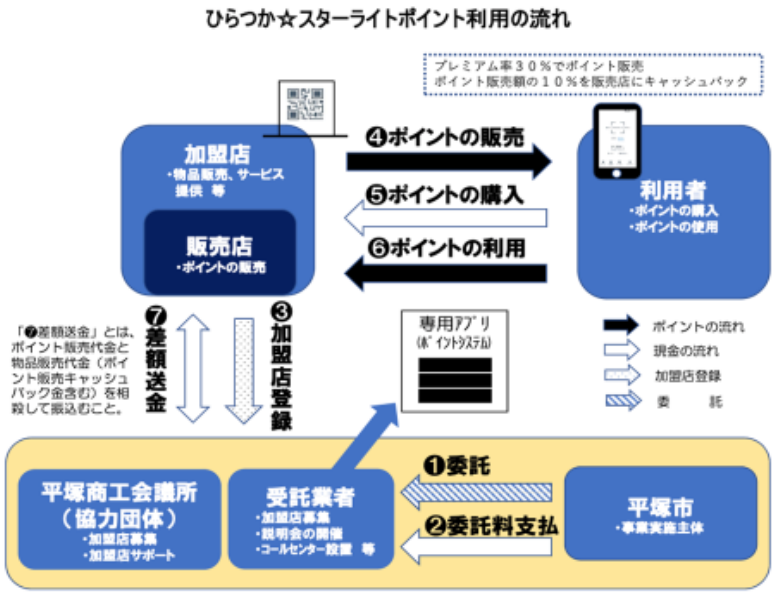
事例：プレミアム商品券の電子化による事務経費の削減【神奈川県平塚市】

Point

- プレミアム商品券の電子化による、事務経費の大幅な縮減・業務の効率化
- 電子化により消費行動がデータ化され、データの分析が容易に

概要

○ 令和元年度は紙媒体で実施していたプレミアム商品券に係る事業について、キャッシュレスの普及等を実現するため、令和２年度に電子化した。これにより、事業規模が約８億円から約１５億円に倍増したにも関わらず、事務経費は１億4,800万円から5,400万円に縮減された。また、電子化により、消費者の消費行動がデータ化されたため、そのデータを基礎とした分析が容易になり、施策の評価や企画立案において有用な指標となった。



発行総額
15億1667万円（プレミアム分3億5000万円を含む）
内訳
当初発行 8億6667万円（プレミアム分2億円を含む）
追加発行 6億5000万円（プレミアム分1億5000万円を含む）

販売金額
13,000円分のスターライトポイントを10,000円で販売（プレミアム率30％！）

購入限度額
1人につき30,000円まで（10,000円単位で上限まで何度でもチャージ可）

電子化によるメリット

① 「新しい生活様式」に対応したキャッシュレス決済の推進
新型コロナウイルス感染症の感染予防の一つとして、キャッシュレス決済の導入が推奨されています。

② 換金手続が不要
紙版商品券では、使用された商品券を換金窓口（金融機関等）にお持ちいただき、換金手続きを行っていましたが、「ひらつか☆スターライトポイント」の場合、取引（決済）データに基づき、自動的に振込が行われます。

③ 会計時の負担軽減
紙版商品券は、釣銭を出すことができないため、会計の際に商品券に現金を加えて支払われるケースがほとんどでしたが、「ひらつか☆スターライトポイント」の場合は１円単位で使用でき、支払いの操作もお客様が行いますので、会計時の負担が軽減されます。

④ 効果的な情報発信
「ひらつか☆スターライトポイント」の利用者は、専用のアプリを入手することになりますが、このアプリには、支払い機能のほかにも、加盟店独自のクーポン券の発行やお知らせをする機能なども搭載する予定となっていますので、きめ細かで効果的な情報発信が可能となります。

【参考情報】 人口：25.7万人、 関連URL：http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/sangyo/page33_00078.html

類似の取組を行っている団体：大分県日田市（ https://www.city.hita.oita.jp/event/11460.html）